

「SEKAI HOTEL」事業による商店街活性化の取り組み等について

～ベンチャー企業×商店街 新たな発想でまちに賑わいを！～



講師：矢野浩一氏（クジラ株式会社 代表取締役）
会場：高岡商工会議所 4階会議室
日時：令和元年8月19日（月）15：00～16：30
参加人数：28名

令和元年8月19日、「SEKAI HOTEL」事業による商店街活性化の取り組み等についてと題してインテリアデザインセミナーを開催しました。

今回は高岡商工会議所との共同開催ということもあり、建築士会で募集した28名を含め、70名弱の多数の参加があり、非常に活気に満ちたセミナーとなりました。

今回は大阪で「本来ひとつの建物にある宿泊、食事、浴場、物販などの機能をまちに分散している“まちごとホテル”」をコンセプトとした「SEKAI HOTEL」を展開されていて、地域を巻き込んだ新たなまちづくりを行っているクジラ株式会社の矢野浩一さんを講師としてお招きしました。1時間半の短い時間ではありましたが、クジラ株式会社企業の目的から「SEKAI HOTEL」の実例紹介と地域との関わり方、そして高岡の今後の可能性まで多岐にわたった内容のお話を頂きました。

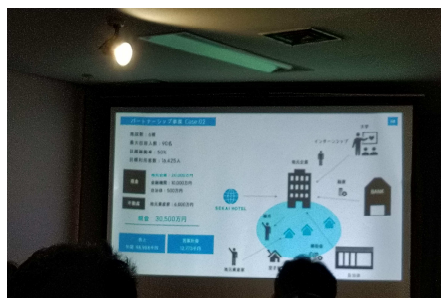
クジラ株式会社は築50年以上の建築物を街の歴史を残すリノベーション、地域にフォーカスしたデザインで「SEKAI HOTEL」として再生し、大阪で2件（西九条、布施）の実績を残しておられます。そこでは宿泊客に地域の提携店で食事や買物ができるSEKAI PASSを渡し、そこで地域の人たちとの繋がりを生み出し、HOTELと地域と宿泊客の対等なコミュニティ形成を目指しているそうです。

現在は新たな手法として「SEKAI HOTEL」のフランチャイズ化を全国数十都市での展開も視野に入れており、高岡もそれに含まれているそうです。矢野氏曰く、高岡は観光客のニーズが高く、非常に魅力的なまちだそうです。但し高岡のような地方都市では今後、大人と子供、地元民と観光客、日本人と外国人、健常者と身障者がノーボーダーで楽しめるまちをつくる必要があり、そうすることで子どもたちが誇れ、地元に残る若しくは戻るといった選択肢をもたらせるモデルとなり得るとのお話でした。



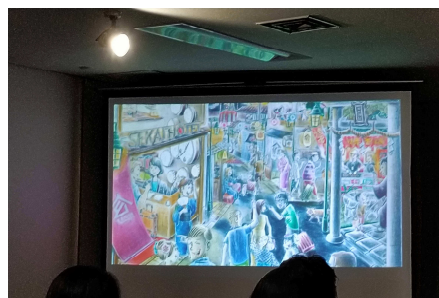
講習会の様子

50名定員のところ、70名弱の出席者があり、大変盛況な講演会でした。



パートナーシップ事業の概念

目標稼働率 50%、少ない目標利用客数で黒字を達成。



クジラ株式会社の目指す姿

観光客、地元民が分け隔てなく笑って暮らせるまちづくり。

講習会を受けて

クジラ株式会社の観光客に日常に溶け込んでもらう、地域のディープに入ってみたいといった潜在的なニーズに応える取り組みは高岡でも実践可能なプログラムだと感じました。当富山県建築士会高岡支部では12月に紹介のあった「SEKAI HOTEL（布施）」を訪ねて矢野氏の理念を体験、学習する機会を設ける予定です。引き続きの参加をお待ちしています。